

平成24年度前期(春学期)
大阪大学日本語日本文化教育センター教育関係共同利用拠点
事業参加公募要項

本共同利用拠点では、大阪大学日本語日本文化教育センター(以下、「日日センター」という。)の教育資源を利用して行く、以下の三事業について、参加校を公募します。

1)日本語連携教育事業

他大学における日本文化教育を含めた日本語既習者教育について、その充実を相互に連携して実現するために、日日センターが開講する選択科目等を他大学在籍留学生に開放します。なお、授業受講条件等は以下の通りです。

< 授業受講条件等 >

- ・受講対象者:他大学に在籍する留学生で日本語既習者を対象とします。
日本語既習者とは、1~2年程度日本語教育を受けた者で、日本語能力試験(JLPT)新試験N4レベル(旧試験3級)合格(およびそれに準じる)以上の学生をいいます。
- ・受講学生の受入れ身分:日日センターの「委託留学生」となります。
- ・受講場所:日日センター棟内の教室(大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号)
- ・日日センター開放科目:日日センターの平成24年度春学期開設科目のうち拠点事業への提供が可能な科目のことをいいます。100コマ程度を予定。なお、平成24年度春学期開放科目一覧(案)と時間割(案)は平成24年2月中旬に共同利用申請者宛に発送いたします。
ご参考までに、平成23年度春学期開設科目一覧(別添)を送付いたします。
- ・授業で使用する教材:日日センターで配布します。受講科目により購入いただく場合があります。
- ・受入期間:原則として、日日センターの前期(春学期)授業期間(平成24年4月初旬~8月初旬)。
- ・受講料:受講生1人当たり1科目(1学期)14,400円(予定)。

2)教育実習指導事業

教育実習の場の確保が難しい他大学で日本語教育学を学ぶ学部生及び大学院生(留学生を含む)を一定期間受け入れ、日日センターの授業を利用した授業見学及び教育実践の機会を提供します。

3)教員共同研修事業

他大学の日本語担当教員を一定期間受け入れ、日日センター教員と共同で授業研究を行う他、教育実習の場合と同じく、授業見学及び教育実践の機会を提供します。

「日本語連携教育事業」については平成24年度より本格的実施の予定ですが、「教育実習指導事業」及び「教員共同研修事業」については、当該年度は試験運用期間とし、受入れ人数を若干名に制限しますので、その旨、あらかじめご承知おきください。

1. 申請者

- 1)日本語連携教育事業: 大学における留学生担当部門の長。 留学生本人からの申請は受け付けません。
(例) 大学留学生センター長、 大学留学生課長
- 2)教育実習指導事業: 大学における日本語教育学担当部局の長又は責任教員。
(例) 大学日本語学科長、 大学日本語教育学担当教授
- 3)教員共同研修事業: 共同研修を希望する大学教員が所属する部門の長、又は本人

2. 申請方法

事業参加希望校は、必ず、日日センター担当教員と事前相談の上、別添の申請書を作成し、下記の送付先へ1部送付願います。

1) 事前相談の期間

平成23年11月21日(月) ~ 平成23年12月16日(金) (土・日・祝日を除く)

2) 事前相談の申込み期間・方法

平成23年11月21日(月) ~ 平成23年12月9日(金) (土・日・祝日を除く)の間にメールにて随時受け付けますので、下記アドレス宛にご連絡下さい。
折り返しメールにて連絡させていただきます。

3) 申請書送付期限

平成24年1月13日(金) (郵送に限る。当日消印有効。)

4) 事前相談の申込み先(メールでのみ受け付け)・申請書送付先

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

大阪大学日本語日本文化教育センター事務室

Tel:072 - 730-5075 Fax:072-730-5074

メールアドレス: kokusai-gakusei-nitiniti2@office.osaka-u.ac.jp

(「共同利用申請書在中」と封筒に朱書きのこと)

3. 採否

共同利用申請については、大阪大学日本語日本文化教育センター教育関係共同利用拠点運営委員会で審査の上、採否を決定します。

なお、審査結果については、平成24年2月中旬までに共同利用申請者宛に郵送にて通知します。

4. 備考

事業参加の円滑な実施のため、別途、覚書等を取り交わす場合がありますので、その点ご承知おきください。
この公募要項は、日日センターホームページにも掲載しておりますことを申し添えます。

URL <http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/>

【問い合わせ】

お問い合わせにつきましては、お手数ですがメールにより下記アドレス宛にお送り下さい。

メールにてご回答させていただきます。

大阪大学日本語日本文化教育センター事務室

メールアドレス: kokusai-gakusei-nitiniti2@office.osaka-u.ac.jp

様式1 日本語連携教育事業用

受付年月日	
受付番号	連携 -

平成24年度前期（春学期）
 大阪大学日本語日本文化教育センター教育関係共同利用拠点事業参加申請書
 【日本語連携教育】

平成 年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長 殿

申請者 氏 名 _____
 所属機関 _____
 職 名 _____
 Tel _____ Fax _____
 e-mail _____

下記により、共同利用拠点事業(日本語連携教育事業)への参加を申請します。

学生の種別及び見込み数	学部生 見込み数 名	交換留学生 見込み数 名
	大学院生 見込み数 名	その他() 見込み数 名
参加希望期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
事業参加による修学成果の認定方法 貴機関における認定方法を記載下さい。		

事業参加の目的・理由

事業参加の方法・内容

事業参加によって期待される効果

様式2 教育実習指導事業用

受付年月日	
受付番号	実習 -

平成24年度前期(春学期)
大阪大学日本語日本文化教育センター教育関係共同利用拠点事業参加申請書
【教育実習指導】

平成 年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長 殿

申請者 氏 名 _____
所属機関 _____
職 名 _____
Tel _____ Fax _____
e-mail _____

下記により、共同利用拠点事業(教育実習指導事業)への参加を申請します。

学生の種別及び見込み数	学部生 見込み数: 名
	大学院生 見込み数: 名
参加希望期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
事業参加による修学成果の認定方法 貴機関における認定方法を記載下さい。	

事業参加の目的・理由

事業参加の方法・内容

事業参加によって期待される効果

様式3 教員共同研修事業用

受付年月日	
受付番号	研修 -

平成24年度前期(春学期)
大阪大学日本語日本文化教育センター教育関係共同利用拠点事業参加申請書
【教員共同研修】

平成 年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長 殿

申請者 氏 名 _____

所属機関 _____

職 名 _____

Tel _____ Fax _____

e-mail _____

下記により、共同利用拠点事業(教員共同研修事業)への参加を申請します。

参加教員 申請者と参加教員が同一の場合も記入下さい。	職名: _____ 氏名: _____
参加希望期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
事業参加の目的・理由	

事業参加の方法・内容

事業参加によって期待される効果

参加希望教員1名につき本申請書1部を作成願います。